

KONISHI REPORT

第99期 株主通信

第2四半期累計期間

2023年4月1日～2023年9月30日

 **コニシ株式会社**

証券コード：4956



代表取締役会長 横田 隆



代表取締役社長 大山 啓一

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが移行したことで、社会経済活動の正常化がより進み、景気は緩やかな回復に向かいました。一方、ウクライナ情勢による資源・エネルギーおよび原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めや円安進行といった経済活動に影響を与える状況は長期化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定しました「中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)」に基づき、さらなる事業拡大と経営の効率化を図るべく、当中期経営計画を開始しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高653億17百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益49億39百万円(前年同四半期比71.1%増)、経常利益52億8百万円(前年同四半期比61.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2023年3月期の第2四半期決算において、固定資産の譲渡による固定資産売却益を計上したことから33億96百万円(前年同四半期比51.7%減)となりました。

さて、当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売へと事業を拡大し、現在は、合成接着剤「ボンド」などを製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ、化学品などを販売・開発する商社としての「化成品事業」、関係工事会社を中心に展開し、橋梁やトンネルなどの社会インフラおよび建築ストック市場の補修・改修・補強工事を行う「工事業」を主力の3事業として、「つなげる」ことを理念とし、さらなる事業発展を図っております。

また今期からスタートしました「中期経営計画2026(2024年3月期～2026年3月期)」では、「ボンド」「化成品」「工事業」の各事業において、新規開拓の強化や成長分野への注力を推進し、過去最高となる売上高・営業利益を目指してまいります。当中期経営計画では、生産、物流、DXに過去最大規模となる約150億円の設備投資を予定しており、さらなる事業拡大に向けた成長投資を行ってまいります。

株主の皆様には今後とも変わらずご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第2四半期累計期間 連結財務ハイライト (2023年4月1日～2023年9月30日)

売上高

65,317 百万円 前年同四半期比 12.3%増 ↗



営業利益

4,939 百万円 前年同四半期比 71.1%増 ↗



経常利益

5,208 百万円 前年同四半期比 61.1%増 ↗

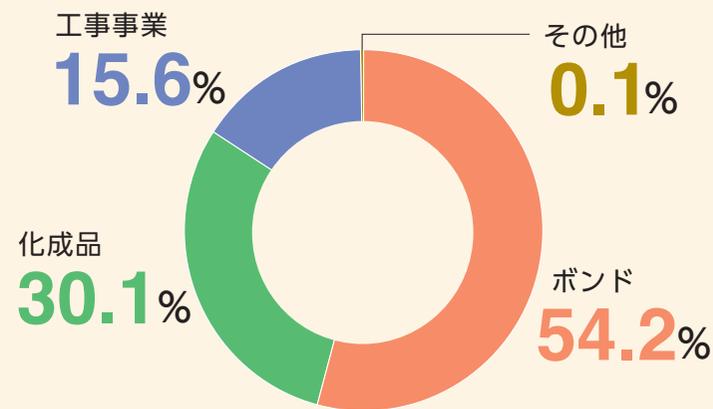


親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

3,396 百万円 前年同四半期比 51.7%減 ↘

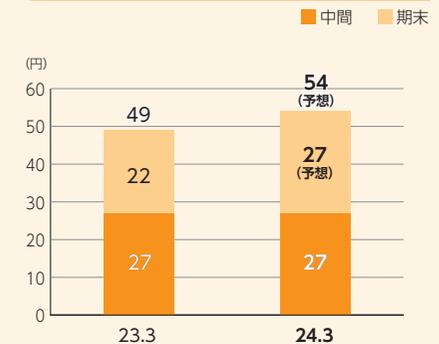


セグメント別売上高構成比



1株当たり中間(期末)配当金

27 円

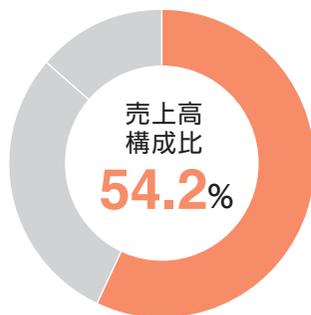


ボンド



事業内容

「ボンド」ブランドの接着剤、シーリング材、工業用テープ、離型剤、ワックスなどを製造するメーカーとしての活動を行っております。ボンドセグメントが関わる分野は、住まいの内外装工事に使用される住宅関連分野、工場の生産ラインで使用される産業資材関連分野、工作・DIYで使用される一般家庭用関連分野、ビル・マンション、橋・トンネルなどを維持・補修・改修する際に使用される土木建設関連分野など多岐にわたります。浦和と大阪に研究開発拠点を備え、新製品の開発・改良を行っております。生産拠点は栃木工場・滋賀工場の2拠点で、栃木と滋賀には自社で物流センターを構えております。



売上高

35,384 百万円

前年同四半期比

+6.6%

営業利益

3,237 百万円

前年同四半期比

+82.0%

セグメント
構成

コニシ(株) ボンド営業本部 土木建設営業本部
サンライズ(株) ウォールボンド工業(株) 水口化学産業(株) ボンドケミカル商事(株) ボンド物流(株) KB LINE(株)
科昵西貿易(上海)有限公司 科陽精細化工(蘇州)有限公司
Konishi Lemindo Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム) PT. Konishi Lemindo Indonesia(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)

当第2四半期連結累計期間の概況

一般家庭用分野

コンビニエンスストア向け、ホームセンター向けともに堅調に推移しました。



住宅関連・産業資材分野

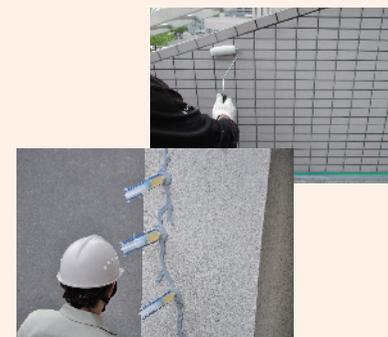
住宅関連においては、建築コストの上昇傾向により新設住宅着工戸数の動きが鈍く、内装工事用接着剤の数量が減少しました。産業資材分野では、自動車、電子部品等に使用される接着剤が好調に推移しました。



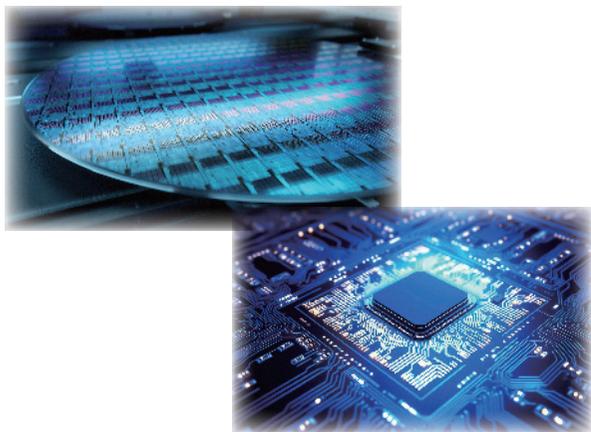
電子電機用接着剤

土木建設分野

建築用および土木用においては、改修工事案件の増加に伴い、建築・土木用シーリング材やはく落防止工法に使用される材料が好調に推移しました。

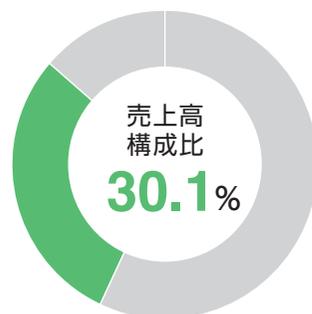


化成品



事業内容

企業間を結ぶ化学品専門商社として、メーカーから原料などを仕入れて、ユーザーに販売する活動を行っております。化学品、塗料、電子電機、自動車などの分野を中心に、中国・台湾・タイ・インドネシアの海外拠点とも連携を図りお客様のニーズにお応えしております。また、2017年に新設しました材料科学研究所と連携し、自社技術を生かしたコニシならではの提案型商社の構築を目指してまいります。



売上高

19,643 百万円

前年同四半期比

+15.8%

営業利益

629 百万円

前年同四半期比

△7.4%

セグメント
構成

コニシ(株) 化成品事業本部 丸安産業(株) 台湾丸安股份有限公司
科昵西貿易(上海)有限公司 PT.KONISHI INDONESIA(インドネシア)
Kony Sunrise Trading Co.,Ltd.(タイ)

当第2四半期連結累計期間の概況

自動車分野、電子電機分野

自動車分野においては、ハイブリッド車向け商材が好調に推移しました。一方、電子電機分野では、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等の個人消費者向け商品の需要低下により、利益が減少しました。



化学工業分野

化学工業分野では、樹脂原料が減少したものの、放熱用材料の販売が順調に推移しました。

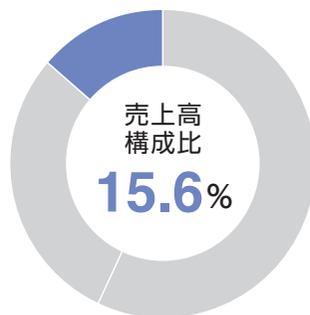


工事業



事業内容

現在では過去に建てられた建築物ストックや社会資本ストックを、補修・改修してより長く利用できるように維持管理していく時代になっております。社会インフラ、建築物ストック市場の維持・補修・改修などを目的として関係会社を中心に工事請負事業を主たる事業として行っております。



売上高
10,199 百万円

前年同四半期比
+29.2%

営業利益
1,002 百万円

前年同四半期比
+120.9%

当第2四半期連結累計期間の概況

土木建設工事分野

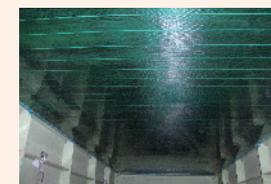
公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、進行基準工事案件の進捗も良好であったため、関係工事会社5社ともに売上高・営業利益は大きく伸長しました。



コンクリートはく落防止



トンネル改修



連続繊維シート補強

セグメント 構成

ボンドエンジニアリング(株) 近畿鉄筋コンクリート(株)
コニシ工営(株) 角丸建設(株) 中信建設(株)

その他

不動産賃貸業となり、売上高は88百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益は58百万円(前年同四半期は30百万円の営業損失)となりました。

セグメント 構成

コニシ(株) 不動産部門

「中期経営計画2026」がスタートしました

2024年3月期を初年度とした3ヵ年計画である「中期経営計画2026」を策定し、4月より活動しております。中期経営計画では、最終年である2026年3月期の数値目標を定めるとともに、「債券」「化成品」「工事業」において、新規開拓や成長分野に注力する重点戦略を設定しました。

また、今後さらなる事業拡大を目指すための投資として過去最大規模となる約150億円の設備投資、株主還元や資本効率向上を目的とした資本政策を行います。

●数値目標

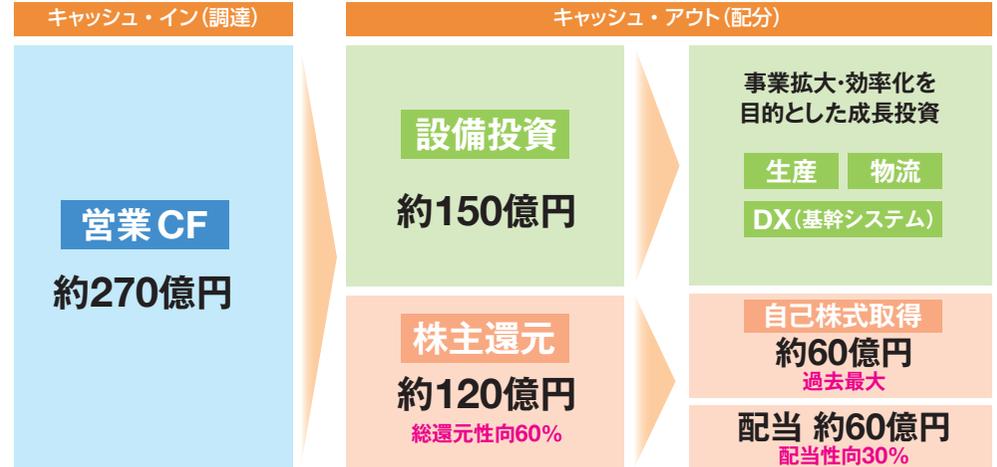
2023年3月期	
売上高	1,233億円
営業利益	74億円
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	96億円 <small>(減価償却費+のれん償却費: 約22億円)</small>
ROE	7.2%*
設備投資	85億円(直近3年累計)
株主還元 <small>(配当総額+自己株式取得総額)</small>	62億円(直近3年累計)

※特別利益の固定資産売却益71億円の影響を除く

2026年3月期(2023年3月期比)	
売上高	1,408億円(+14.1%)
営業利益	97億円(+30.9%)*
EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small>	129億円(+34.5%) <small>(減価償却費+のれん償却費: 約32億円)</small>
ROE	8.0%
設備投資	150億円(3年累計)
株主還元 <small>(配当総額+自己株式取得総額)</small>	120億円(3年累計)

※「2024年3月期の営業利益予想93億円」(注)と比較して、最終期の営業利益の増加額が低い要因は、設備投資による減価償却費が最終期に大幅に増加しているためです。
(注)2023年4月28日「2023年3月期決算短信」に開示

●資金配分計画(3年間)



※M&Aに必要な資金については手元資金から充当する予定です。

※取得する自己株式は原則消却する予定です。

※3年間の資金配分のイメージ図であり、運転資本の増減による影響は含めておりません。

●各セグメント別事業戦略

ボンド	化成品	工事業
<p>2026年3月期数値目標 売上769億円 (+79億円)</p> <p>2023年3月期: 690億円</p> <p>2026年3月期数値目標 営業利益60億円 (+15億円)</p> <p>2023年3月期: 45億円</p> <p>産業用途の新規開拓推進～非住宅分野の強化～ 電子電機、自動車業界向け製品の開発、水性形接着剤の拡販</p> <p>社会インフラ・建築ストック長寿命化への取り組み推進 土木建築補修用の新製品・工法開発の推進、建築用シーリング材シェア50%へ</p> <p>既存主力業界である住宅関連用のさらなる拡販 リフォーム需要の取り込み、新製品開発・他社切替えによりシェア向上を目指す</p>	<p>2026年3月期数値目標 売上388億円 (+41億円)</p> <p>2023年3月期: 347億円</p> <p>2026年3月期数値目標 営業利益15億円 (+2億円)</p> <p>2023年3月期: 13億円</p> <p>メーカー機能を併せ持つ商社へ 材料科学研究所による自社開発製品の早期上市</p> <p>注力分野(自動車、電子電機業界)の新規・深耕開拓 推進による販売強化</p> 	<p>2026年3月期数値目標 売上249億円 (+54億円)</p> <p>2023年3月期: 195億円</p> <p>2026年3月期数値目標 営業利益20億円 (+4億円)</p> <p>2023年3月期: 16億円</p> <p>リペア市場(土木補修分野)における事業拡大 橋梁などの社会インフラ老朽化対策工事に注力</p> <p>事業規模拡大に向けた体制の構築 有資格者の採用強化、社内育成による資格取得推奨</p> <p>M&Aによる事業拡大 相乗効果が発揮できるM&Aの推進</p> 

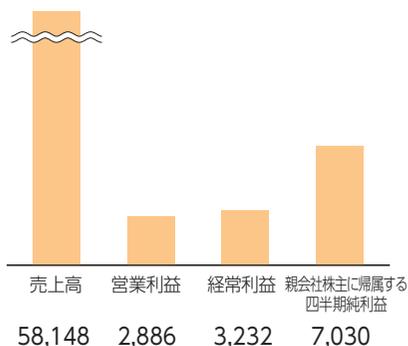
※数値は収益認識基準適用後

● 連結損益計算書

(百万円)

前第2四半期連結累計期間

2022年4月1日～2022年9月30日



当第2四半期連結累計期間

2023年4月1日～2023年9月30日



POINT!

1 資産

流動資産は、現金及び預金が9億40百万円減少したものの、電子記録債権が11億13百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が6億89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億33百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産が15億76百万円、投資有価証券が16億1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ29億25百万円増加しました。

2 負債

流動負債は、未払法人税等が17億73百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が42億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ37億8百万円増加しました。固定負債は、その他が5億26百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増加しました。

● 連結貸借対照表

(百万円)

資産の部

前連結会計年度末
2023年3月31日現在

当第2四半期連結会計期間末
2023年9月30日現在



負債・純資産の部

前連結会計年度末
2023年3月31日現在

当第2四半期連結会計期間末
2023年9月30日現在

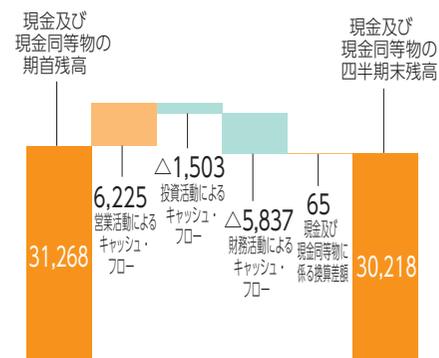


● 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

当第2四半期連結累計期間

2023年4月1日～2023年9月30日



3 純資産

純資産は、利益剰余金が26億17百万円、その他有価証券評価差額金が9億72百万円増加したものの、マイナス項目である自己株式が49億56百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ8億93百万円減少しました。

国内



海外



会社概要

(2023年9月30日現在)

- 設立 1925年(大正14年)9月25日
- 資本金 46億3百万円
- 従業員数 連結1,555名、単独742名
- 証券コード 4956
- 事業所
 - 本店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目6番10号
 - 本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号
北浜コニシビル
 - 関東支社 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目3番35号
 - プラント大阪 東京
 - 支店 名古屋、福岡、横浜、札幌
 - 営業所 仙台、新潟、栃木、前橋、千葉、静岡、金沢、滋賀、姫路、高松、広島、沖縄
 - 製造拠点 栃木工場、滋賀工場
 - 研究所 浦和研究所、材料科学研究所、大阪研究所、シーリング材研究所
 - 物流拠点 栃木物流センター、滋賀物流センター

役員

(2023年10月1日現在)

- | | | | |
|------------|-------|--------------|--------|
| 代表取締役会長 | 横田 隆 | 社外取締役(監査等委員) | 川田 憲治 |
| 代表取締役社長 | 大山 啓一 | 社外取締役(監査等委員) | 中田 基之 |
| 取締役専務執行役員 | 日下部 悟 | 社外取締役(監査等委員) | 山田 美樹 |
| 取締役常務執行役員 | 松端 博文 | 常務執行役員 | 井上 孝一郎 |
| 取締役常務執行役員 | 巖 利彦 | 執行役員 | 川竹 正敏 |
| 取締役常務執行役員 | 岡本 伸一 | 執行役員 | 藤善 敏史 |
| 社外取締役 | 高瀬 桂子 | 執行役員 | 向井 義浩 |
| 社外取締役 | 肥後 陽介 | 執行役員 | 佐野 直哉 |
| 取締役(監査等委員) | 榎本 真也 | 執行役員 | 泉谷 憲一郎 |
| | | 執行役員 | 齋藤 文伸 |
| | | 執行役員 | 原田 邦治 |

WEB SITE

ホームページ紹介



当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について積極的に情報開示を行っております。より深くご理解いただくためにも、ぜひご利用ください。

アドレス

<https://www.bond.co.jp/ir/index.html>



株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数……………160,800,000株
 発行済株式の総数……………40,707,440株*
 1単元の株式数……………100株
 株主数……………4,049名

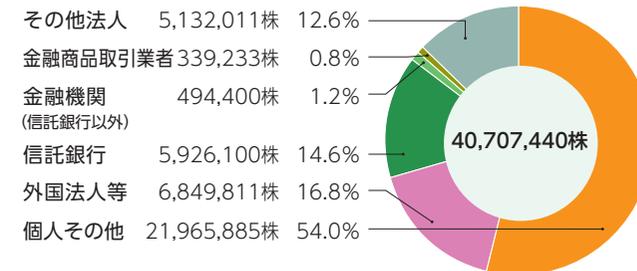
*発行済株式の総数は2023年10月13日に自己株式を5,500,000株消却したため、2023年10月13日現在「35,207,440株」となっております。

○大株主 (上位10名)

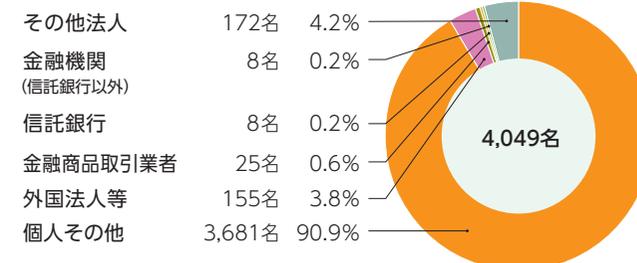
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	4,412,700	13.28
コニシ共栄会	2,394,300	7.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,242,700	3.74
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	1,038,500	3.12
AVI GLOBAL TRUST PLC	929,050	2.79
コニシ従業員持株会	726,656	2.18
株式会社カネカ	684,000	2.05
小西哲夫	623,900	1.87
小西新太郎	578,168	1.74
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	448,000	1.34

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社、株式会社日本カストディ銀行の所有株式はすべて信託業務に係る株式であります。
 (注2) 出資比率は、自己株式(7,497,589株)を控除して記載しております。
 また、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

○所有者別株式数の分布状況

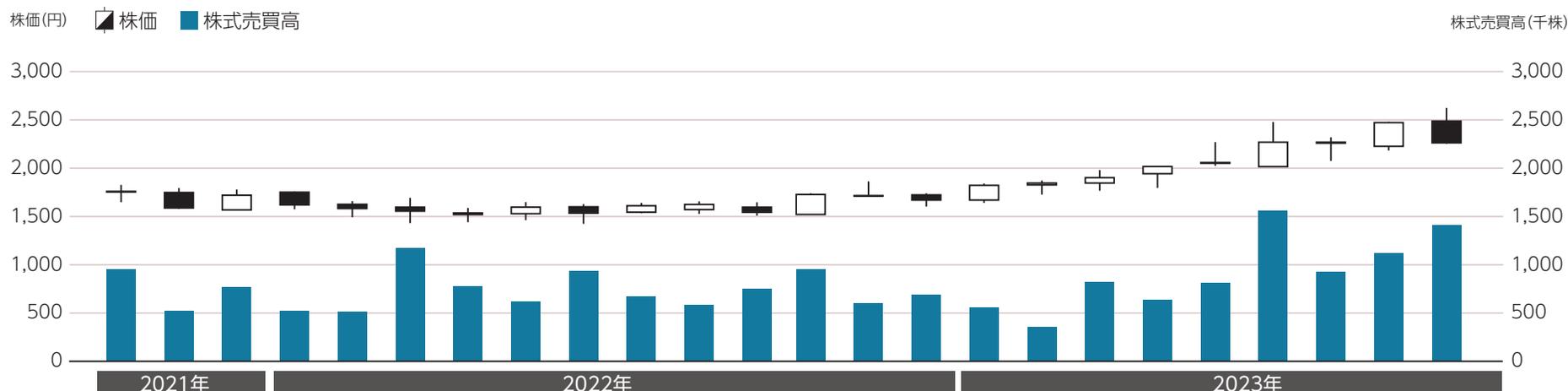


○所有者別株主数の分布状況



株価および株式売買高の推移

(2023年9月30日現在)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.bond.co.jp/ir/stock/notice/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



本 社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1 TEL 06(6228)2811
関東支社 / 〒338-0832 さいたま市桜区西堀5-3-35 TEL 048(637)9940



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。



この印刷物は、環境に配慮しFSC®
の認証紙と水なし印刷方式を採用
しています。